

令和2年度

事業報告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会の理念	1
事業機構	3
利用者の状況	5
デイケア事業	10
メイトウ・ワークス	
天白ワークス	
はまなす	
レジデンス日進	
ナイトケア事業	18
相談支援事業	22
サービス品質の向上を目指した取り組み	25
決算報告	29
施設・事業所一覧	

名東福祉会の理念

【法人の理念】

利用者の思いを確かなものにする

優しい気持ちになりたい ～ホスピタリティ・マインドを意識して～

- 笑顔で接する
- ありのままを引き受ける
- 気持ちに寄り添う
- 思いを想像する
- 真摯である

【法人のミッション】 「やりたいこと」「やらねばならぬこと」

自己決定を支援すること（意思決定支援）により、
利用者および利用者支援に関わる全ての人々に安心感を与える

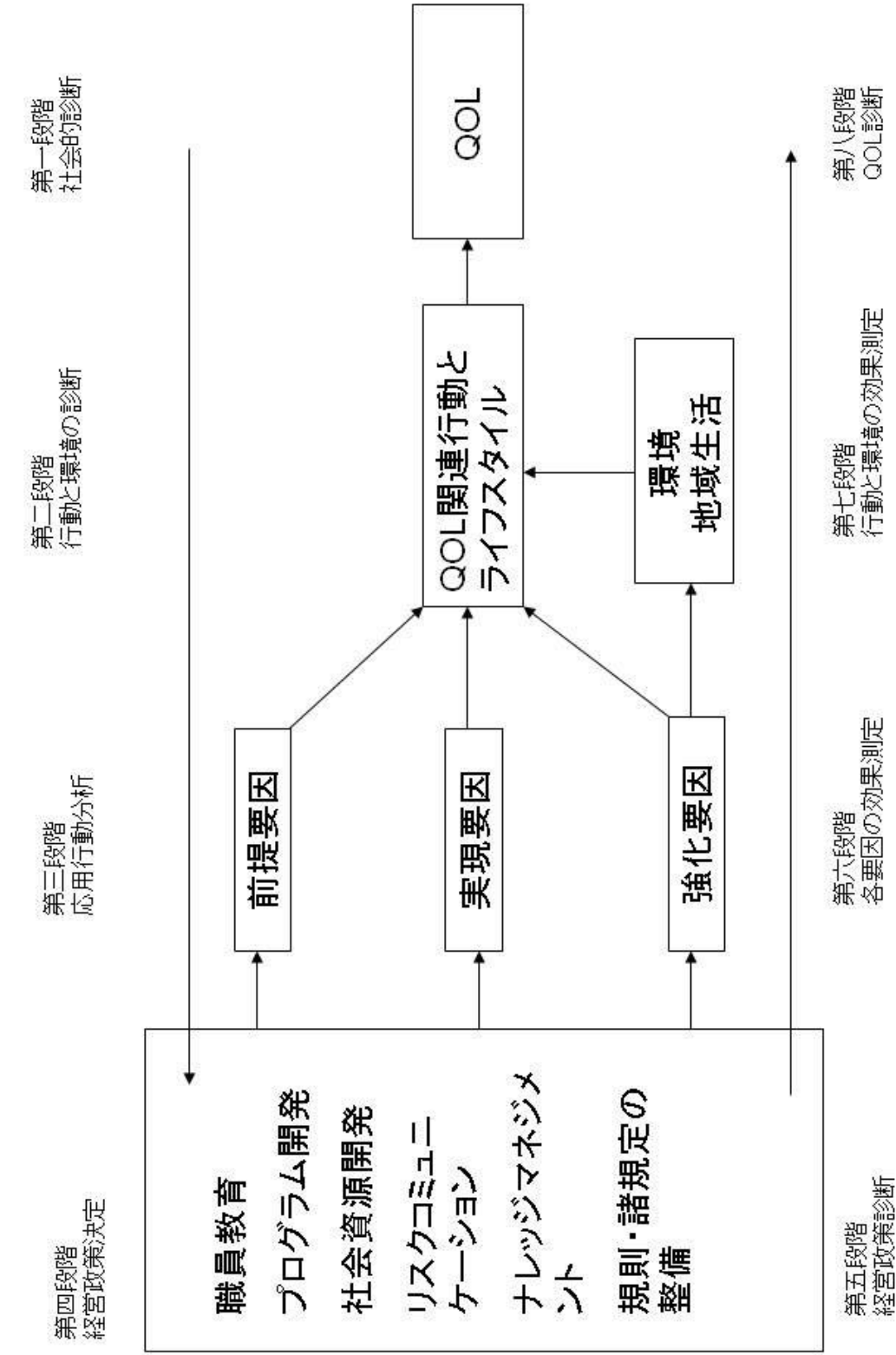
- ・利用者が **安心** して利用したい
- ・職員が **安心** して働きたい
- ・ボランティアが **安心** して参加したい
- ・理事会・評議員会が **安心** して経営参加したい
- ・後援会が **安心** して協力したい
- ・地域の方々が **安心** して任せたい

【法人のビジョン】 「ありたい姿」「あらねばならない姿」

“やりがい”を感じられる活動と、“安全”で“快適”な暮らしを提供する。

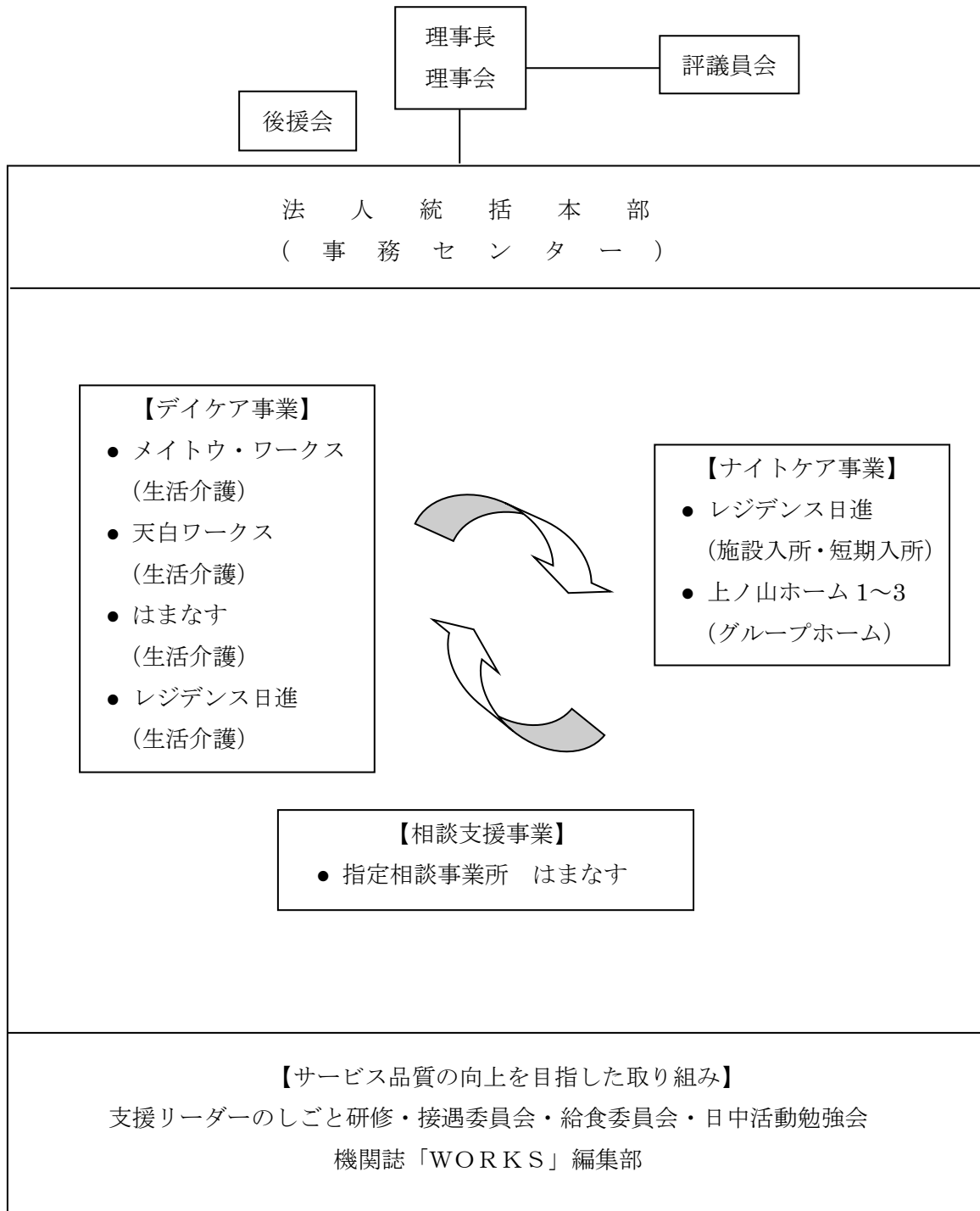
- ・障害の重さを個性として理解する
- ・利用者の人たちの意思を尊重する
- ・ひとりひとりの望みに合わせた生活を実現する
- ・人とのかかわりを大切にする
- ・生活環境を整備する
- ・社会とつながる活動を大切にする
- ・働くこと（生産活動）を支援する
- ・地域との交流を大切にする
- ・利用者や支援者の健康に配慮する
- ・支援の質を向上させ、地域に貢献できるよう努力する

利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル



事業機構

1. 機構図



2. 職員構成 令和3年4月1日 現在：計88名（内派遣スタッフ2名）

	本部長	事務員	管理者	支援員 相談員		看護師	栄養士	医 師
				男	女			
法人全体	1	5	4(2)	30	43	2	2	1
メイトウ・ワークス			1	2	5	(1)		(1)
天白ワークス			1	5	9	(1)		(1)
はまなす			1	3	5	(1)		(1)
レジデンス日進			(1)	20	23	1	2	(1)
上ノ山ホーム			(1)					
指定相談はまなす			1	(1)	1			

* レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

* () は兼務

利用者の状況

(令和3年4月1日 現在)

名東福祉会は現在、130名以上の方々から利用契約をいただき、名古屋東部地域を中心に、障害福祉サービスの提供をおこなっています。継続的に、デイケアおよびナイトケア事業を利用されている方が119名（うち、26名が両事業を重複利用）、短期入所や日中一時支援事業等の今年度の利用者が19名（うち、14名が法人デイケア事業も利用）で、グループホーム利用者の中には、就労している方も3名おられます。

障害のある方々の生活をトータルに支援できるよう、事業所間の連携を強化して利用者のニーズに応じていきたいと考えています。

1. 年齢分布

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			1	1	1	2	3	4	7	5	5	1	30
天白ワークス		1			2	2	7	2	3	3	7	4	31
はまなす	1		2		1	1	5	2	6	2	1		21
レジデンス日進 (施設入所支援)				1	1		2	4	10	8	8	6	40
上ノ山ホーム							4	1	5	2	9	6	27
法人全体	1	1	3	2	5	5	21	13	31	20	30	17	149
	2		5		10		34		51		47		

2. 居住（出身）地分布

(1) 名古屋市内分

	名古屋市												
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	中	東
メイトウ・ワークス	22					2			2				1
天白ワークス	2	11	4		3	1			1	1			
はまなす	16	2		1	2								
レジデンス日進 (施設入所支援)	9	8	5	1		2	1	1	1	1		1	
上ノ山ホーム	4	7		1	3	1	1	1		2			
法人全体	53	28	9	3	8	6	2	2	4	4		1	1

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外						小計	市内小計	合計
	日進	春日井	尾張旭	瀬戸	江南	他県内			
メイトウ・ワークス	2					1	3	27	30
天白ワークス	8						8	23	31
はまなす								21	21
レジデンス日進 (施設入所支援)	7			1	1	1	10	30	40
上ノ山ホーム	1	1	2	1		2	7	20	27
法人全体	18	1	2	2	1	4	28	121	149

3. 障害の程度：障害支援区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		計 (平均)
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			2		2	4	7	6	2	1	4	2	30(4.2)
天白ワークス					3	1	5	2	6	4	5	5	31(4.9)
はまなす					1		5	1	7		3	4	21(5.0)
レジデンス日進 (施設入所支援)							3	1	5	5	13	13	40(5.6)
上ノ山ホーム			1	1	3	1	8	3	6	4			27(4.1)
法人全体			3	1	9	6	28	13	26	14	25	24	149(4.8)
			4		15		41		40		49		

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	9	5	1	3	7	5			30
天白ワークス	9	5	5	1	5	6			31
はまなす	8	1	4	1	4	2		1	21
レジデンス日進 (施設入所支援)	13	7	1	2	6	8	1	2	40
上ノ山ホーム	8	5	2		8	4			27
法人全体	47	23	13	7	30	25	1	3	149
		70		20		55		4	

(2) 重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス		1			1		1	2			5
天白ワークス	1	2			1		1				5
はまなす		2									2
レジデンス日進 (施設入所支援)	3	3				1					7
上ノ山ホーム					1	1			2		4
法人全体	4	8			3	2	2	2	2		23
		12		0		5		4		2	

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス				1	1		2	1	1	3	13	8	30
天白ワークス		1			1		2	1	6	1	9	10	31
はまなす	1				2	2	2		3		8	3	21
レジデンス日進 (施設入所支援)			1	2	1	1	3	7	3		13	9	40
上ノ山ホーム			2				8	9	8				27
法人全体	1	1	3	3	5	3	17	18	21	4	43	30	149
	2		6		8		35		25		73		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	30	21.3	21.1	24.2	23.2	22.1	22.5
天白ワークス	35	27.6	29.0	30.1	29.5	29.2	29.9
はまなす	25	18.6	19.6	19.6	19.7	16.6	15.3
レジデンス日進 (施設入所支援)	40	37.8	36.8	38.8	38.5	36.5	37.6
上ノ山ホーム	27	24.7	24.1	26.3	26.2	24.0	25.3

10月	11月	12月	1月	2月	3月
22.5	22.0	21.3	21.7	21.6	22.5
30.0	28.3	29.4	29.5	29.1	28.6
19.0	18.8	19.1	18.5	18.9	19.1
38.0	37.7	37.3	36.2	37.9	37.4
26.2	25.1	24.2	25.1	26.0	26.4

今年度平均	前年度平均	
22.3	24.2	メイトウW
29.3	29.8	天白W
18.7	20.8	はまなす
37.5	36.8	レジデンス
25.3	25.6	上ノ山H

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
67	66	68	96	105	106	98	86	70	81	78	105	1,026

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
10	10	11	12	11	5	9	7	9	10	11	10	115

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市

9. 通所施設時間延長サービス利用者数 (16:00~17:00)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス						
天白ワークス						1
はまなす	13	13	13	24	19	17
法人全体	13	13	13	24	19	18

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
						0	メイトウ・ワークス
1				1		3	天白ワークス
21	16	16	16	12	17	197	はまなす
22	16	16	16	13	17	200	法人全体

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの提供を目指してきました。

人の暮らしの質を考える場合、やはり日中の過ごし方の重要性は第一と言えます。施策や制度の動向を踏まえながら、利用者のニーズに基づくサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢をご提案していきたいと考えています。

メイトウ・ワークス

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、作業活動、余暇活動共に縮小しておこなうこととなった。作業は下請け関係の減少により作業量の減少が見られ、自主製品もバザー等の販売機会がなくなり、工賃の減少となった。余暇活動は外部からの招待をなくし、施設内でできる行事を縮小した形態でおこなった。

また、年度の後半から2階作業室の改善に着手し、作業室の環境改善を継続的に進めてきた。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶芸	縫製	下請他	計
令和2年度	475,095	0	1,000,913	1,476,008
令和元年度	383,201	34,262	1,119,006	1,536,469

(2) 作業内容

● 下請け作業

部品の組み立て、袋詰め、仕分け作業など、作業工程を細分化し、利用者の特性に合わせた作業を提供できるようにしている。

● 陶芸作業

動物はし置き、季節の人形、お皿などの小物陶器を製作。土に触れる、型抜き、成形、素焼きの絵付け、焼成後の仕上げなどをおこなった。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	1,225,000 円	49,000 円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

● 創作活動

陶芸の創作活動は、上ノ山の陶芸サイトでおこなった。

● 全体行事

- ・クリスマス会
- ・豆まき

(5) 地域交流

年間を通してボランティア様に来所いただき、作業やイベントを通して、利用者との関わりを深めている。

- ・コミュニティーセンターの行事に参加

(6) 地域貢献

- ・駐車場を南自動車図書館（あおぞら号）の巡回ポイントとして利用していただいた。
- ・大学生の介護体験実習を受け入れた。

天白ワークス

今年度は、新型コロナウイルス感染予防ため、レクリエーション活動及び行事については、内容の変更または中止とした。活動についても職員と利用者のみでおこなった。

焼き菓子の店「ロト」についても現在は販売のみとし、喫茶コーナーは休業した。

個々の利用者の活動状況を把握し、より一人一人の利用者に合った活動内容を提供していくことを目指した。

別館や製菓作業は、生産活動（下請け作業や製菓）を中心におこなった。1階作業室では、下請け作業や陶芸をおこないつつ、その他の活動も取り入れた。

2階作業室では、一日のタイムスケジュールに合わせて作業をおこない、週1回散歩を提供した。

それぞれの作業室ごとにコーヒータイム（月に1回または2回）を設けている。

別館では、コーヒータイムとともに会議の時間を設け、それぞれの利用者の意見を出し合った。

製菓作業室のコーヒータイムでは、食べたいものを選び、作って食べた。時には、全体のコーヒータイムでも作ってもらい、全利用者で食べる機会も設けた。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	陶 芸	焼き菓子	精 米	下請他	計
令和2年度	613,074	928,110	0	745,486	2,286,670
令和元年度	396,402	1,508,610	0	851,983	2,756,995

(2) 作業内容

● 陶芸

食器(コップ・皿)、置物、マグネット等を製作。成形、水拭き、絵付け・釉掛け、仕上げをおこなった。

● 焼き菓子

クッキー・パウンドケーキ等の焼き菓子を手作りで製造し販売した。材料の準備、計量、生地づくり、成形、袋詰め、包装の工程を、利用者が役割分担した。

● 下請け

部品の組み立て、製品の箱詰め等、工程がわかりやすい作業をおこなった。作業工程を細分化・構造化することで、多くの利用者が参加した。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	1,449,900 円	46,741 円/年

別館・製菓作業の利用者を中心に評価給を上乗せしている。

(4) レクリエーションプログラム・イベント

イベントは新型コロナウイルス感染予防のため、内容変更での実施か中止とした。

● 創作活動

1階作業室で週1回創作活動を提供した。また季節行事に合わせての創作もおこなった。

● 音楽療法

月2回、講師によるミュージックケア。2グループに分けて利用した。

(令和2年度は3回のみ実施)

● クリスマス会

各作業室でゲーム大会を実施。昼食は外注のお弁当とした。

● レクリエーション活動

作業室ごとにゲーム大会等を実施した。外出を控えたため、お花見や初詣等も天白ワークス内でおこなう形で実施した。

● コーヒータイム

各作業室で月1回または2回実施。

(5) 地域交流

- ・天白区かおの見えるアート展

w e b 公開や地域の中での展示に参加した。

- ・その他の作品展の展示にも参加した。

(6) 地域貢献

教職課程履修大学生の介護体験実習受け入れはおこなわなかった。

はまなす

令和 2 年度は、午前は生産活動を、午後はレクリエーション活動を主体とした活動をおこなった。

生産活動では、働くことで、社会とのつながりを大切にし、社会貢献を目指せるよう支援した。作業を工程ごとに分けておこない、難しい作業も治具を使用したり、タイマーを使用したりして、分かりやすく内容を提示し、取り組むことができた。

レクリエーション活動では、芸術、音楽、スポーツを通して利用者が自己表現できるものを見つけていき、生き生きと生活ができるよう支援した。活動内容を曜日によって決めているため、見通しを持って取り組むことができた。

毎週木曜日午後の創作活動では、はまなすのロビーに飾る大きな「貼り絵」を制作した。テーマは、桜や七夕、ハロウィン、クリスマス等のイベントや時季に合ったものを制作した。素晴らしい作品が出来るようになり、やりがいを持って取り組むことができた。

毎週金曜日午後の身体活動では、無理なく、楽しく身体を動かすことで、健康にも配慮した活動となるよう、バランスボールやマットを使用しての軽運動や、ビーチボールや大きな風船を使用して、バレーボールをおこなった。

はまなす内の各フロアに空気清浄機を設置し、室内環境を整えた。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	下 請	雑収益	計
令和 2 年度	112,354	0	112,354
令和元年度	126,040	12,000	138,040

(2) 作業内容

ナット・ワッシャーの袋詰め、ボルトのナット止め、ポケットティッシュの包装等。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	117,000 円	6,157 円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

※ 令和 2 年度のレクリエーションプログラム・イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や規模を縮小しておこなった。

- 散歩
公用車を使用して近隣の公園や公共施設へ出かけ、散歩、散策をおこなった。気分転換、健康増進、一般の方々との交流などを目的に、午前、午後とメンバーを入れ替えて実施した。
- 通常のレクリエーション
毎日、午後の時間帯に月曜日陶芸、火曜日足湯、水曜日カラオケ、木曜日創作、金曜日身体活動をおこなった。利用者の参加の定着ができた。
- 夏まつり
8月12日（木）の午後から、音楽を楽しみながらかき氷、たこ焼きを食べた。
- クリスマス会
12月25日（金）午後から、音楽活動に、クリスマスイベントを加えて楽しんだ。
- ティータイム
毎月、第三金曜日の午後2時よりティータイムをおこなった。お菓子を食べて、ジュースを飲んだ。

（5）地域貢献

年2回の高針台一丁目町内会一斉清掃、8月 極楽学区盆踊り大会協賛金協力、10月秋の祭礼「たかほくまつり」へバザー品を提供協力は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

また、区内中学生の福祉体験、職場体験等の受入れや、名古屋市新規採用職員研修や大学・専門学校からの教員免許介護体験等の学生実習も新型コロナウイルスの影響により中止となった。ホームヘルパー現任研修はおこなう事ができた。

レジデンス日進

新型コロナウイルス感染対応のため、3密回避、外出の自粛、マスクの着用、体温測定、活動場所の消毒、換気などに努めた。

生産活動については、コロナ禍においても利用者工賃を下げることなく、下請け作業に取り組むことができた。また、下請け作業の提供が難しい利用者に関しては、お茶、書籍のネット販売を開始し、発送するお茶・書籍を、利用者が郵便局に持っていく取り組みにより、夏季冬季の2回、工賃にあたる支給金を渡すことに結びつけることができた。

自閉症の利用者への「構造化」対応の手法として、落ち着いて（安心して）、生き生きと、楽しく、人と関わることのできる環境にすること（生活の質の向上）を目的として取り入れた「自立課題」は、導入を計画し、実践を始めて2年が経過したが、細かな課題はあるが、一応の定着をみる事ができた。

「自立課題」は、自閉症に限定されることなく、知的に障害のある人にも有効な手法であることから、自閉症以外の利用者にも導入してきた。これまで職員判断で作業を提示していた利用者の中には、期待したとおりの「本人が課題を選択し、取り組む」ことが可能となった。

作業による売上については、毎日生産活動に参加している利用者には、その取り組みを数値で評価し、毎月工賃として支給した。また、自立課題やレクリエーションが中心の利用者には、賞与という名称で年2回支給した。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	下請他	お茶・書籍	雑収益	計
令和2年度	1,605,348	1,355,475	0	2,960,823
令和元年度	1,585,629	1,389,518	4,000	2,979,147

(2) 作業内容

- ・施設近隣の会社からの下請け作業（自動車部品の組立て、ガス器具の部品組立、水洗トイレの部品組立など）を主な作業（生産活動）として提供した。
- ・お茶、書籍を販売、発送した。

(3) 利用者給与支給状況（※工賃規程の定めによる）

	工賃総額	一人当たり平均（賞与含）
主たる取り組み（生産活動）	1,657,900円	127,531円／年
主たる取り組み（自立課題）	720,000円	30,000円／年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラム、特にイベントについては、新型コロナウイルス感染対応のため、中止および大幅縮小して実施した。

● 季節行事

- お花見：レジデンス日進前の桜を鑑賞した。（近隣の喫茶店「あぜりあ」にお弁当を注文）
- はるまつり：お弁当の提供のみとした。家族会の参加は中止とした。
- 流しそうめん：七夕を意識して、昼食にそうめんを味わった。
- なつまつり：花火は、ナイトケア事業の余暇支援としての位置付け。午後からスイカ割りとかき氷、夕食後は花火を楽しんだ。学童との交流は中止とした。
- バスハイク：中止とした。

- あきまつり：お弁当のみの提供とした。家族会、地域の方々の参加は中止とした。
 - クリスマス会：クリスマスランチの提供のみとした。日進市の登録ボランティアさん、家族会の参加は中止とした。
 - 初詣：近隣の神社に出掛けた。
 - 節分：職員が鬼となって豆まきをおこなった。
- スポーツイベント
 - ソフトボール大会：主催者の判断により中止となった。
 - ゴルフ観戦：主催者の判断により中止となった。
- その他
 - 和太鼓：毎月、第2金曜日に言語聴覚士でもあり、障害児・者に和太鼓の指導をされている先生に来ていただき、太鼓の音、響きを体感することができた。パーティー等でのコロナウイルス対応に努めた。
 - 音楽療法：講師判断により中止となった。
 - ドッグセラピー：飼い主の方との協議により中止とした。

(5) 地域交流

コロナウイルス感染対応のため、大幅に自粛した。

(6) 地域貢献

コロナウイルス感染対応のため、大幅に自粛した。

*** 参 考**

R2年度	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス 日 進	法人全体
陶 芸	475,095	613,074			1,088,169
縫 製					
焼き菓子		928,110			928,110
精 米					
下請他	1,000,913	745,486	112,354	2,960,823	4,819,576
計	1,476,008	2,286,670	112,354	2,960,823	6,835,855

R 1 年度	1,536,469	2,756,995	138,040	2,979,147	7,410,651
H30 年度	1,919,207	3,936,624	362,889	1,592,570	7,811,290
H29 年度	2,158,861	3,718,970	154,545	1,333,220	7,365,596

ナイトケア事業

名東福社会では、レジデンス日進を生活支援の拠点として、グループホームを展開しています。レジデンス日進の4つのユニットに加えて、上ノ山ホームもユニットとして考え、ナイトケアのノウハウを活かすことで、安定したサービス提供を図ります。

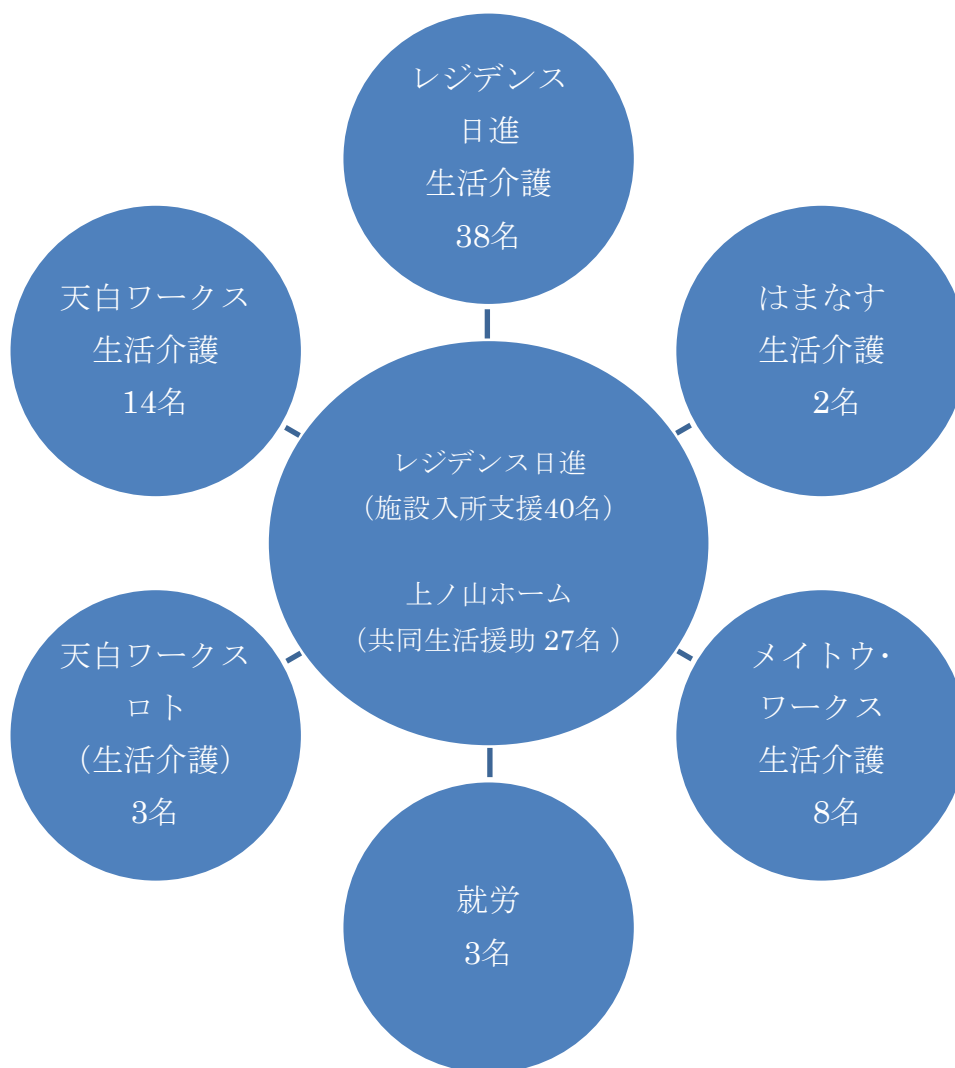
今後、ナイトケア事業への期待は高まるばかりですので、健康で快適な生活の場を提供できる支援体制を創造していきます。

1. 新型コロナウイルス感染対応

3 密回避、外出の自粛、マスクの着用、体温測定、活動場所の消毒、換気などに努めた。

2. 生活の場と日中活動の場の連携

施設入所支援においても、他事業所を利用できるよう支援することがレジデンス日進の大きな特色である。利用者の方々に安心して生活していただくためには、日中活動事業所との連携が不可欠であることから、利用者個々の様子・健康面等での伝達事項を積極的に共有するよう努めた。



(※上図は令和2年度)

3. ナイトケア事業間の連携

施設入所支援及び共同生活援助を「ナイトケア事業」として位置づけ、職員配置、勤務割り等を一体化して管理体制を維持することができた。また、法人の通所事業所の職員による夕方からの、生活支援（夕食・入浴など）を中心としたバックアップについても、継続して協力を得ることができた。

4. ユニット単位の支援

レジデンス日進（施設入所支援）は1ユニット10名程度のユニット単位での生活支援を基盤とし、上ノ山ホームも同様に1住居（ユニット）9名での生活支援を基盤として、完全個室での個別対応による利用者の生活の安定を図った。

特に、入浴は、各ユニット（住居）に浴槽2箇所設置しており、毎日、個別に入浴するスタイルも継続実施できた。また、共有スペースには、テレビ、テーブル、椅子等を配置して、朝夕の食事はもとより利用者がくつろげる空間として提供した。

5. 健康管理

レジデンス日進及び上ノ山ホームの、ナイトケア事業所における健康管理の重要性を踏まえ、看護師が中心となり、現場支援員との連携を図りながら取り組んでいる。

年2回の定期健康診断を実施。個々の状態により毎日・毎週の体重・血圧測定を実施。又、訪問歯科検診、インフルエンザ予防接種を実施した。

生活習慣病予防対策として、対象利用者は、毎朝（休日は除く）及び午後からの時間を利用して30分間のウォーキングを実施した。

感染症対策（発症時の対応マニュアル整備）、通院支援として体調不良の利用者の早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への受診も継続支援できた。往診（月2回）を含め嘱託医を中心とした地域医療機関との連携に留意した。

利用者個別の「体調シート」を作成し、利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置（入浴時にチェック）、状況を記入し、状態の把握・共有を図り、適切な支援・介護に努めた。

また、夜間帯には、緊急対応マニュアル（てんかん発作時の個別対応シート含む）を各ユニットに設置し、緊急時には6名の職員が連携をとり合い、より早く対応できるよう努めた。

6. 防災対策

専門業者による消防設備点検、災害時用の備蓄（7日分）、緊急マニュアルの整備、避難誘導訓練（隔月）をおこなった。

7. 金銭等の管理

利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨と

しておこなった。また、年金及び現金管理をしている利用者に対しては、行政等の手続きの代行、年金管理を家族・後見人等が担っている利用者に対しては、預かった現金の管理をおこなった。

8. 季節行事

新型コロナウイルス感染対応のため、中止、および大幅に縮小して実施した。

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、療育支援事業等を通じて、地域にお住まいの障害のある方々の生活を支える取り組みにも力を入れてきました。当事者の意向に沿った地域生活支援の重要性は増すばかりですし、そのためのネットワークの構築は必須です。

平成 17 年に名東区で地域生活支援センターを開設、地域にお住まいの方々の相談支援を開始し、平成 26 年には名古屋市より名東区障害者基幹相談支援センターの事業を受託、総合的な相談や地域づくりといった、地域生活支援の拠点機能を担ってきました。

現在、基幹相談支援センターの委託業務は終了しましたが、平成 26 年よりはまなすに併設した指定特定相談支援事業所にて計画相談支援の提供をおこなっており、引き続き地域に根差した相談支援に取り組んでいます。

指定相談事業所 はまなす

令和2年度は、新規での契約は8件（うち法人内利用者0件）となった。
新規契約者の内訳としては、精神障害者2名・障害児（発達障害含）3名・知的障害者2名・重複障害者1名となっており、ここ数年の傾向として精神障害者や発達障害児の相談が多くなっている。

契約者数は、前年度の136名から（契約解除1名ありで）7名増え、令和3年3月31日現在で143名となっている。

ここ数年、契約者数は増加傾向にあるが、その分相談者一人一人に関わる時間が減少する傾向にもあり、相談支援の質をどう維持するのが課題となっている。

このような状況の中で、相談支援事業所として本当に支援が必要な方に支援がおこなえるよう、優先順位を検討しながら、効率的に業務を進めていくことによって、相談支援の質を維持できるのではないかと考える。

1. 契約者の内訳

【居 所】

	名古屋市	日進市	尾張旭市	瀬戸市	北名古屋市	計
人数	124	9	2	2	1	
	春日井市	江南市	一宮市	愛西市	豊田市	
人数	1	1	1	1	1	143

(名古屋市の内訳)

	名東区	昭和区	天白区	守山区	緑区	千種区	瑞穂区	中村区	計
人数	85	5	10	6	7	5	2	1	
	北区	西区	東区	南区	港区	中区	熱田区	中川区	
人数	0	0	0	2	0	1	0	0	124

(住まい別)

	施設入所	グループホーム	一人暮らし	計
人数	36	20	10	
	家族と同居	有料老人ホーム	その他	
人数	75	1	1	143

【利用サービス（重複利用あり）】

	施設入所	療養介護	共同生活援助（GH）	短期入所
人数	36	1	22	42
	生活介護	就労継続 A 型	就労継続 B 型	就労移行
人数	80	5	16	4
	就労定着	居宅介護	重度訪問介護	同行援護
人数	1	22	3	1
	移動支援	地域活動支援	放課後等デイサービス	行動援護
人数	48	16	9	0

【年齢・性別】

	児（～17 歳）	者（18 歳～）	計
男性	7	75	82
女性	2	59	61
計	9	134	143

【障害種別（重複障害あり）】

	身体	知的	精神	発達障害	難病
人数	16	115	17	7	0

2. 職員研修及び自立支援協議会参加状況

実施日	内容 等
4 月（中止）	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局会議（計 12 回） ：令和 2 年 4、5、8 月、令和 3 年 1 月 ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ：令和 3 年 2、3 月はオンライン（Zoom）で開催 【事務局：区福祉課、保健 C、基幹センター 指定相談事業所】 ⇒ ・年 6 回（偶数月）は定例会（計画相談の状況 等） ・年 6 回（奇数月）は事例検討
5 月（中止）	
6/19	
7/17	
8 月（中止）	
9/18	
10/16	
11./20	
12/18	
1 月（中止）	
2/19	
3/19	

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福祉会は、提供するサービスの品質管理を法人全体でおこないたいと考えています。法人・事業所の特色を活かしながら、利用者に満足していただけるサービスの提供を目指していきます。

そのためにも、人材育成やサービス改善の仕組みは必須です。

1. 委員会

【給食委員会】

(1) 目的

提供される給食の内容を検討することにより、より安全で、品質の高い食事提供を目指す。

また、委託業者と法人が食事提供に関して共通の目標を持ち、給食メニューの見直しをおこなう。

(2) 構成

法人：本部長、栄養士、事業所支援員各1名

委託業者：エリアマネージャー1名、管理栄養士1名

(3) 活動報告

毎月第2木曜日に開催

- ・前月の給食内容（献立・提供方法など）についての検討
- ・利用者個別対応の確認（健康・食品アレルギー等の考慮）
- ・新規メニューを含めた献立の検討
- ・衛生面、感染症対応の確認

(4) 成果等

各事業所の検食簿に記載された内容を基にして、味付け、食材のバランス等、委託業者の献立作成の参考となるような話し合いをおこなうことができた。

事業所ごとの厨房現場における味付け、提供方法等の違い等の細かな違いに関して、修正、改善することができた。

2. 研修会等

【「支援リーダーのしごと」研修会】

(1) 目的

技術や知識、アレンジ力（配置する、整える力）・アドリブ力（臨機応変な対応力）など、総合的なスキルアップを図ることで、リーダーシップ力を身につけ、法人全体を視野に入れて利用者支援ができる職員を目指す。

(2) 構成

理事長、各事業所副所長・ユニット責任者、職員

(3) 活動報告

毎月第2月曜に開催。

- ・観察、判断といった現場での実践レベルの対応の確認ができた
- ・決算報告書を取り上げることができた
- ・虐待防止に関する意識を高める話し合いをおこなうことができた
- ・利用者支援において、研修報告を含め、強度行動障害等の障害特性の理解の必要性について確認することができた

(4) 成果等

各事業所のリーダーとして実践面で必要な意識・技術・知識について学ぶことができた。また、平成元年度決算報告書の数字を取り上げることで、実践面以外に経営面について関心を持つことの必要性を確認することができた。

法人内事業所において虐待通報があったことを踏まえ、虐待防止に関する取り組みの必要性を共有することができた。

【接遇委員会】

(1) 目的

支援の本質を考えることで、「どうして職員は利用者に対してマルトリートメント（不適切なかかわり）をしてしまうのか？」を理解し、より適切な支援を実践することを目指す。

(2) 構成

講師（レジデンス日進職員）・各事業所管理者推薦職員

(3) 活動報告

毎月第3月曜日に開催

- ・参加職員が順次ケース報告をおこなう
- ・ケース資料の作成方法を学ぶ
- ・ケース検討の仕方を学ぶ
- ・ケース報告から支援方法を検討する

(4) 成果等

ケース検討をおこなうにあたっての準備段階としてケース資料の作成、ケース検討の方法について学ぶことができた。

ケースを扱うことで、自己決定、意思決定を踏まえた、具体的な利用者支援について考えることができた。

【日中活動勉強会】

(1) 目的

将来的な日中活動の内容について、長期的視点で検討する。加えて、法人内事業所の職員の交流を図るため、各事業所で勉強会を開催する。また障害に関する知識や障害福祉制度の理解のための情報提供をおこなうことで、各事業所での日中活動にフィードバックしてもらう。

(2) 構成

法人事務センター職員・各事業所希望職員

(3) 活動報告

毎月第3金曜日に開催。

- ・参加者個別の支援に関する困りごとについて話し合った
- ・虐待に関する話題を取り上げた

(4) 成果等

この勉強会の目的のひとつである事業所間の職員交流に関しては、参加者個別の困りごと等について情報共有することができた。

法人内事業所への虐待通報もあり、やまゆり園、東浦のグループホームの事例を取り上げることで、虐待防止への意識の向上を図ることができた。